

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年12月7日(木) 9:45～11:45
- 3 開催場所 大垣特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会長	後藤 悦子	障がい者相談支援事業所ゆう 所長
副会長	伊藤 三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会 会長
委員	岡田 浩	大垣共立銀行 江並支店 支店長
	加藤 千恵美	大垣市くすのき苑 所長
	福山 里恵	大垣特別支援学校PTA役員
	川端 誠	大垣公共職業安定所 統括職業指導官(欠席)
	国枝 由道	上笠自治会 会長
	山口 敏文	大垣水都ライオンズクラブ 第一副会長
	山田 晃嗣	情報科学芸術大学院大学 教授
学校側	松原 勝己	校長
	桐山 泉	事務部長
	高木 靖	小中学部教頭
	横山 浩明	高等部教頭
	佐藤 鈴子	小学部主事
	若原 真智	中学部主事
	恵美 利達	高等部主事
	橋浦 夏子	教務主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 創立50周年記念式典、事業報告

- 意見1 協力できることもあるので、今後もいろいろな取組みを紹介してほしい。
- 意見2 自分たちだけで完結せず、いろいろな学校と繋がっていることが素晴らしい。心温まる式典であった。
- 意見3 寄贈されたジャングルジムについて、事故を防ぐために使い方の取り決めがある  
とよいのではないか。
- 意見4 共生社会の実現に向けてお手伝いできることがあれば言ってほしい。
- 意見5 当日はもちろん、それまでに準備してきたことが、良い形で表れていた。

(2) おおとばフェスタの紹介

- 意見1 児童生徒が努力していることが、一人一人の表情から伝わってくる。
- 意見2 自然な笑顔で、楽しく取り組んでいる。
- 意見3 児童生徒を中心として、主体性をもたせるような指導がされている。  
外部へ発信していくことが大切であり、社会に受け入れてもらえるように一緒に協力していきたい。
- 意見4 ネットワークが生かされたイベントであった。ネットワークの構築はどのようにされているのか。通信やHPでの発信等、それらを含めた学校運営がされている。

(3) 指導・高評

- 意見1 小・中・高等部があることで、来年度の自分たちの姿をイメージできることはとても良いことである。児童生徒が増えすぎている現状はあるものの、交流の場があることは良い。お互いがどんな活動、取り組みをしているかを知る機会になる。
- 意見2 授業参観をさせていただき、どの授業でも子供たちが集中して授業を受けている姿が印象的であった。指導者のお力である。
- 意見3 子どもたちの気持ちを受け止め、見守って指導されている。また、子供たちが自ら作り上げる色とりどりの作品に心が温まる。明るく輝いている学校である。
- 意見4 先生方はよく努力されている。これからもよろしくお願ひしたい。
- 意見5 高等部の作業学習の様子を参観し、みんな生き生きと取り組んでいる。クオリティーも高い。もっと、他の所にも知ってもらって、販売する手立てはないか。
- 意見6 教室に入ると、子どもたちが顔を上げて、挨拶をしてくれる。すばらしい姿である。
- 意見7 小学部から高等部まで、多様な年齢の児童生徒が通学しており、さまざまな配慮が必要になる。また、地域の一員として、大切な存在であるように、地域とのつながりが大切である。

6 会議のまとめ

- ・創立50周年記念式典、記念行事に係る取組については成果が得られた。共生社会の実現に向けて多方面との協力を図りたい。
- ・学校行事や授業の中で、児童生徒の成長が見られた。その姿を地域社会へ発信していく方途について、検討していく必要がある。